

助演者プロフィール (順不同)



沢田 真余(雅美余)

生田流正派家元・中島靖子、後藤すみ子、故高田育子に師事。正派音楽院・NHK邦楽技能者育成会卒業。84年より<箏・三昧>を結成し、20回の定期演奏会を主催。姉・堤腰和余との「音楽と語りの会」、F1・声楽家との「グループ雅」等を主催。語りと音楽の自作

品演奏や、三鷹市等の小学校への箏の授業にも力をいれている。日本文化紹介の為、ポートランド(米)・モスクワ(旧ソビエト)・ベルゴロド(ロシア)・ハリコフ(ウクライナ)等で招待演奏。正派邦楽会大師範。日本三曲協会、桐韻会、三鷹音楽連盟代表理事。雅美余会主宰。



瀬志本 雅楽華

箏曲を故高田育子師・後藤すみ子師に師事。正派音楽院にて中島靖子師に師事。NHK邦楽技能者育成会第30期修了。昭和62年度文化庁芸術家国内研究員として歌と三弦を平井澄子師に師事。第1回松山会演奏会に出演(以

後、24回出演)。2006年JFCアンデパンダン第10回コンサート出演。高橋正道作曲 箏弾き歌『平家女人右京大夫哀歌(面影)』初演。同年、すみだトリフォニーホールに於いて第2回リサイタル開催。日本舞踊「創作自由市場」にて「面影」に若柳公子氏が振付、共演。高田育子師逝去の後、栃木市で代稽古を務める。生田流箏曲正派邦楽会大師範・正派合奏団・桐韻会・箏藍の会所属



友渕のりえ

生田流箏曲を母から手ほどきを受け、その後中島雅楽之都、中島靖子、平井澄子、菊原初子に師事。正派音楽院本科音楽科卒業、NHK邦楽技能者育成会卒業。1974年第1回リサイタル、以来「友渕のりえ日本のうた」リサイタルは2016年まで

通算37回を開催。1987年、1988年文化庁芸術祭賞受賞。1992年菊原初子師より野川流三味線組歌を全曲習得し、更に1996年古生田流箏曲組歌を全曲習得し、各々の皆伝の巻を受ける。1996年に松尾芸能賞新人賞受賞。2006年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2009年紫綬褒章。現在、日本三曲協会々員、現代邦楽作曲家連盟会員、(公財)正派邦楽会所属、正派大師範(雅号:友渕雅扇)、友渕会および正派雅富志会主宰。



久松彩子

箏曲・三弦を友渕のりえ師に師事。東京芸術大学音楽学部邦楽科(生田流箏曲)卒業。卒業時に皇居内桃華楽堂にて御前演奏をする。NHK邦楽技能者育成会38期修了。平成15年度文化庁新進芸術家国内研修制生。第10回長谷検校記念全国

邦楽コンクール箏曲の部優秀賞受賞。第13回賢順記念全国箏曲コンクール銀賞受賞。「久松彩子 箏三絃リサイタル」を3回開催。演奏活動の他、Eテレ・BSフジ・NHK-FM等に出演する他CD・DVD・CMレコーディング等の活動多数。雅号・雅紗恵、現在 和洋国府台女子高等学校非常勤講師、宮地楽器 Music Joy 新宿箏曲講師、正派邦楽会箏曲三絃大師範、正派合奏団団員、森の会会員



野坂操壽

初代野坂操壽から手ほどきを受け、9才で加藤柔子師に箏曲・地歌を師事。東京芸術大学音楽学部卒業、同専攻科修了。1965年:第1回リサイタル。日本音楽集団団員(1982年迄)。1969年:第2回リサイタルで二十

絃箏を開発・発表。芸術祭奨励賞。1986年:小劇場ジャンジャンを拠点に、自作曲のライブツアーを3年間継続。1991年:二十五絃箏を発表。2000年:ミュージックペンクラブ賞最優秀賞。2002年:芸術選奨文部科学大臣賞。2003年:紫綬褒章、二代野坂操壽襲名。2011年:日本芸術院賞、野坂操壽×沢井一恵ツアー開始。2015年:文化功労者。古典の継承、現代曲の研鑽並びに二十五絃箏の為の委嘱初演を続けている。現在、公益社団法人日本三曲協会常任理事。桐朋学園芸術短期大学特別招聘教授。生田流箏曲松の実會主宰。



平野裕子

生田流箏曲を古屋富蔵、古屋靖枝に師事。1989年、東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。在学中、宮城賞を受賞。1992年、同大学修士課程修了。

1992年～1995年、高崎短期音楽大学非常勤講師を勤める。2010年ソロリサイタルを開催。国際交流基金助成海外公演(ニューカレドニア、トルコ、ハンガリー)、中国、ロシア、オーストリア、ドイツ公演などに参加。コンサート出演、NHKFM放送出演、CD録音参加などの他、小中学校において邦楽鑑賞会、箏演奏の授業を行い、邦楽普及にも努めている。日本三曲協会、生田流協会理事 森の会会員 東京大学箏曲研究会講師 東京芸術大学非常勤講師 生田流鳳友会会長



堤腰和余

言葉の持つ意味を声によって表現し、声による表現を駆使して豊かな物語の世界を伝えたいとの思いから平成11年から「堤腰和余ひとり語り」を始め、今年6月第123回を開催。浜松市、磐田市、掛川市などで「朗読講座」の講師を務め、小学校

での指導など、長年にわたり多くの人に朗読の楽しさ奥深さを伝えつつ、朗読技術の向上に努めている。他ジャンルとの融合から生まれる新鮮な感動を目指し、積極的に活動を続けている。今年度は「静岡県ふじのくに子供芸術大学」の公募企画による「朗読とピアノ演奏」の舞台に参加する子供たちの朗読指導が予定されている。K朗読研究会主宰。H&V代表。静岡県詩人会。著書、詩集「ゆれている」CD、朗読ライブ「ちっちゃなかみさん」平岩弓枝、「橋ものがたり、約束」藤沢周平。松山会演奏会では第16回から連続してナレーターを勤め、その間朗読が入った曲では舞台上で披露した。



石原美歩

7歳から筆を持ち始める。手島右卿先生の日本書道専門学校で臨書を学び、その後、田中常貴先生に師事し徹底的に古典臨書を学ぶ。書道界のアカデミー賞と称される毎日賞を2回受賞。書道パフォーマンスの指導をはじめ、国民文化祭や大手企業

イベントでのパフォーマンス等、書道パフォーマンスの分野でも女流パフォーマーとして第一線を走る。また、NHK「スクールライブショー」ではレギュラー審査員を務め、最終回には唯一書家でスペシャルゲストとして出演。テレビ東京「毎日かあさん」出演や、他各局のテレビやラジオ番組にもゲスト出演。NMB48ミュージックビデオ技術指導など幅広い分野で活動している。海の神「宮島」に生まれ、山の神「富士山」の山梨を拠点に活躍中。公益財団法人独立書人団審査会員、一般財団法人毎日書道会会員、徽墨会審査会員、やまなし県民文化祭委嘱、都山流尺八楽会准師範



DJ KRUSH

サウンドクリエイター/DJ。選曲・ミキシングに於いて抜群のセンスを持ち、サウンドプロダクションに於ける才能が海外のクラブ・シーンでも高く評価されている。1992年からソロ活動を精力的に行い、日本で初めてターンテ

ーブルを楽器として操るDJとして注目を浴びる。1994年に1stアルバム『KRUSH』をリリースし、現在までに9枚のソロ・アルバムと1枚のMIXアルバム、2枚のセルフリミックスアルバムをリリース。ソロ作品はいずれも国内外の様々なチャートの上位にランクイン。現在も年間、約30カ所以上のワールドツアーを敢行する国や地域を越えて、多岐に渡り高い評価を得続けるインターナショナル・アーティスト。2017年ソロ活動25周年を迎え、自身初の日本人ラッパーとのコラボレーション・アルバムとインストアルバム2枚をリリース予定。益々進化を遂げるDJ KRUSHから目が離せない。



橋本治恵

東京都出身。正派音楽院において、中島靖子・後藤すみ子の両氏に師事し、箏・三絃を学ぶ。NHK邦楽技能者育成会修了。1984年<箏・三昧>を結成し、東京に於ける定期公演と多数の地方公演・海外公演を開催。また、2006年より作曲と脚本

を手がけ箏による弾き語りの創作を始める。現在は弾き語りを主な活動としてステージを重ねている。作品のテーマは多岐にわたり、物語では最新作で「おかあさんの木」をテーマにした「胡桃が実る季(とき)」、芥川龍之介「蜘蛛の糸」をテーマにした「地獄池」、金子みすゞの詩と人生を語る「愛しきものへ」、古典落語から「夢金」 「死神」等、十三絃箏と十七絃箏を媒体に創作を続け、その作品は18曲に及ぶ。



卯月裕子

正派音楽学院卒業。NHK邦楽技能者育成会終了。1984年演奏グループ《箏・三昧》を結成しこれまでに20回の定期演奏会をはじめ、浜松市・新潟市・横浜市等での地方公演、フルート・ソプラノとのジャンルを越えたジョイントコ

ンサート等を開催。邦楽器による作品の初演にも多数参加している。近年は身近で開ける邦楽をモットーに、地元の民家を改装した空間「可喜庵」でのサロンコンサートに力を入れている。生田流正派大師範雅号・雅裕規